

迫
サ
サ

天下第一大奇書





迫_ニサ_キ

H I S A K I S A K U

ゲームとはまた違った
「秘録妖怪大戦争」の世界を
楽しんでもらえたら
嬉しいです。

迫^ニサキ
ドキドキ
妖怪らぶと!

DOM DOM TOM LOVE BATTLE



CONTENTS

おまけマンガ	219
最終怪	177
第五怪	145
第四怪	113
第三怪	77
第二怪	45
第一怪	3



一第卷怪一





ホラーが何よりも苦手です

びゅっびゅっびゅっびゅっ
びゅっびゅっびゅっ



おまっ
その場で怖い夢
見て泣きながら
起きるって

ダッセエエ

エエエツ



そんなに笑わ
なくてもいいだろー

姉ちゃん！



そもそも昨日
朝も夕も
中々一歩も
進んでくれない

思ってたや
よかったわ
だろー

っーか

早急に逃げ出す
超こぎれた方の
身にもなりやがれっ

いででで



って
いくら豪華だからって
クレープでございいうこと
すんのやめるとなほ

！

あいつついてん
じゃねーよ
あいつあり

さやあ



あつ
あな
朱音っ

お婆ちゃん
お婆ちゃん



す
す
す

いる...











……まあ
いいか

焦る必要も
ないし……ね

は——
びっくりした……

何だっていきなり
朝から

あんたをタタ
エロマンがみだいな
展開……

エロが
何だって？

うおあ？
おまつ……
立川！！

何？朝から
エロ展開でも
してたんけ？

遠っ……!!

あーれー！
今日は親子先輩
一緒にやねーの？

おちやん！

別に出る時間が
合えば一緒に
行くだけだし

もったいねー！

既だっちなあんな
美人の姉さんがいたら
毎日一緒にいるわ

大体お前
妹も可愛いわ
お姉さんも
可愛いじゃん
そっか？

なんでだよ
身内の誰が黒くて
何の意図もないから

なんでだよ お前
妹も可愛いわ
お姉さんも
可愛いじゃん

ドキッ

光臨くん

ハラ

どうでも
あいづとは
最近

……あ









あーもう
校内臭っ
たな...

すっかり悪く
なっちゃったな



何か
置いたか...

なんでも
ないっ



...やべえ
どうしよう



突撃くんす

どうして
あんなに
あんなに

いかにあんなに
...つていいや
あんなに
あんなに



あんなに
あんなに
あんなに







今にも
見えそうな
服は!!

って
そうじゃない
だろ!!

お嬢さん
知り合い……



まだ
いや知り合いって
いうか……

な
何なんですか
あなたは……!!

私……
私は……



あなたの

唇を奪いに
きました♡







な

何？

何の騒ぎだよー！

みーやっぱ何も
話してねーのな
あの人は！

こいつは
悪女

電話とかに
出てくる
アレだ

そして
アタシは

茨木童子

まあ
いわゆる

鬼って
やつよ

なっ……

はあ??

どういう
ことだよ!!

姉ちゃんに
向くぜ

まあ、信じ
らんねーのも
無理はねーか

そしてお前は――

何なんだ……!!

源頼光の
血を引く人間で

「とある力」を
持っている

源……頼光!!

……って

源……

そりゃあると
思っただよ

源精光――

平安時代の武將であり
源氏の源氏討伐中
土御門通安にて有名な
源氏ハンターの名
第一人物だ

そしてその
人物こそ

お前の
母親だ

いや全然意味
わかんないし！

「お前の」ってなんで
他人の母親なんだよ
俺もやんだって

ああ
それを

はあ！

アタシは剛虎に
力ずくで倒れられ
てるだけで

本意はお前の
娘でも何でも
ねえんだよ

へー！

とにかく

その精光の血を引く
お前の「力」を求めて
妖怪はお前を狙ってる

姉ちゃんが
姉ちゃんじゃ
ない……？

お前の「心」の手に
握られる力方には
闘力を失くする
効果がある

お前の母親……姉兄は
昔の因縁で就任から
スズミ様を困らせてんだ

でもあの人
バカ強いから
手加減ねえの

だからお前の「心」を
奪って「闘光」に
勝てるだけの力を
つけないってわけ

なん……だ
それやあ……？

そう……

そして、その方は
母親を導く
闘光になる

私たちは、この日を
待っていたんです



ホラーは嫌いだって
言ってるだろ!!

……っ
逃しませんっ

わけのかん
ねえ

何が起きる
何が起きるのか

そんなの
映画でも聞わ
りたくない

早っ!



助けっ……

姉ちゃん！

ええ！

なんで！

なんでってー！
そのために来て
くれたんだろ



ばっか
ちげんよ

アタシは悪手
しはきただけ！

アタシには無常の数字が
かかってのから
お前に手 出すゆえにと

がー！

なんだって

——

ごめんなさい

あなたに頼みは
ないんだけど





彼女が言わんや
やアなんだよな！

聞かなくてねえの

なんだ…

あんな風に
迫ってきたから
てっせー！

…んん
あんなに

どうして
ほろい

あんなに
あんなに

俺…

この人に
なら

バカに
しないで！！

さあ

うえ！！

「俺一巻から脱のここと
バカにして……」

「悪女なのに
自分の山で誰に
へやうて二回
はられなくをうた
こととが」

「悪事をせよと
した人に睨み
みられれたこと
とかを、いつまでも
おかしにして……」

ナニイロ

絶対、絶対！

強くなって
皆を見返して
やるんだからっ!!

胸たつてこんなに
大きくなったし！

重とほほすん
だからっ！

こうなったら
どんな手を
使っても

絶対……

やばい
殺されるっ……

絶対っ……

ぜっ……

全然!!
変なことじゃ
ないですよ!!

えっ……

人を意識させられ
ないのはっ
きつと彼女さんが
優しいからです!

ちよっとドジな
ところとかー
魅力的だと
思いますっ

ドジの顔って
流行ってますー

ほ……ほんと……

でも私……



!?







でも何かもう
いいやー

こんな
可愛い人に

手又されて

死ぬなら

本望かも

しれないー

あっ
あの

誰かー



トロッ

きゅん

!!

とつとつ
融けた——!!

うあ……
うわああつ

やっぱり正夢
だったんだ

来っ
来るなあつ

わたし……





身体が熱く
なりすぎると

融けて
小さくなって
しまうんです
うち……!!



え？

一度こうなっ
てしまうと

雪女が元力を
取り戻すには
数か月かかっ
てしまうらしい

まさかの事態で
難を逃れた俺
だったけど……







— 第三怪 —



すみません……

加減が
わからなくて……!

うわっ
何だコレだ

老師の部屋
誰もみれじやん

雪女が……ターキーの
かわりに室溫
下げてたんだって

いやいや
やりすぎだろっ

雪女は好意で
やってたみたい
だけど……

思いつきで
風邪引いてん
じやん

しっかし
いつもよりになあ
雪女の故……



他の母親は
距離をとかいう
歴史的人の
生まれ家なりで

そのせいで彼は
僕に追われて
いる

ぼろの親は
他の「心」

その「心」を
磨くための
方法が

僕はまた
おはいえ
僕に胸を

とにかく

次からはちゃんと
お兄ちゃんを
守るんだよ

渡木童子

へいへい
わーったよ
酒香童子さま

——そう





あの時別れたし
女と男かな
身体とか



この時

彼女に抱きつた
目的はと何も
思えてないって
言ってたけど



いづなのこと
気持ちの悪い目で
見ないでくれるけ

いづなの友達の
話だ

などを機に
彼とふたりのこ
してくる

み……
見て知……

に
第……

はあ……
よく言うのっ
そんな悪い
顔してっ







……

どうも……



安城さんの
カーターのせいも
あるけど



すみません！

僕達が悪いときは
仕方ないわよ



今だつても眠
倒してられない

まったく
精神的な疲れも
たまひだろうな

安城、身振りのな
き男に引かれすぎり
こそめて



藤ちゃんか
さうだね



オレがとか
駄目とか！

熱いね……
大丈夫かしら？





ああ
なつい…なあ

こんな夜に無酒なのだ
久しぶりだな…



熱が退いた時はいつも
皆さんがタオルを
持ってきてくれたわけ…

ああ今も

熱が
気持ちいい…

皆さん…



あら

お母さんって
呼ばれるには
まだ早いと
思うけれど





熱で力が
出ない——っ

ほらっ♡



この展開は
——!!!



逃げなまや

ほら
あいつの

でも

マサって呼んで
5560



ほらー
さあ
ほら!!

待っ
だめです
先生ッ

あれ?

ああん
そのせりうも
いいわ

あなた
素晴らしい
わ

でも嫉妬なら
真っ先に



海原先生!!

サア



ごめんなさいね
こんな人のもとみに
預けた私が
間違いだっわ



先生 この人の
正体知って――

そう
その人は――

皆本くん
大丈夫!!

俺の事を
狙ってるん
じゃ――

高校生キラの
超変態女!!!

いや

今までに数々の
男子生徒を
食いものにしてきた
問題保健医よ!!!

ちよつと酔みを
男子生徒がいると
すぐに手を止して
……

だけど今までに
関わった生徒から
苦情が一通出ない
ものだから余計に
なっていないのよ

流石にこんなに
熱がある子にまで
手を出すとは
思わなかったわ

行きましょう

あめん
待つてよう

また来てね
保健医さん……

……ずいぶん

妖怪じゃ
なかったのか…

そういう場合は
すれ違った男の子の
胸が赤かったのは…

アツキ

でもまあ

妖怪じゃなくて
よかったか…

ちやんとした
ベッドに身をよせて
申し訳ないけど

そのジワアアで
体なといわ

はい先生

私は今の時間
授業がないから
ここで見ていて
あげる

ゆっくり
休みなさい

海原先生…

大丈夫？

静寂 地味で
あんまり気にして
なかったけど

はら

目つぶり
なさい？

それに
優しい声





















妖怪続きで
疲れ切ってた
けど……

よかった……！

何だろう
心が癒されて
いく……

後日

なんか最近
妖怪気配
全然なくなった
よねー

ははー

生臭い
生臭い
生臭い
……

おす
……





青衣に
肩衣の海賊実生

それに
タリス・マイクの
姉妹が！と

この「通商で
次々と怪怪に
出会った



オバケとか
そういう物が
あふれあふれ

サツルが
自覚すること
嫌なになれば
涙に悔くさい



それに家は
怪怪が入れない
ようになつていて

たてこたえ
家

……あつ



うわああああ!!!

でっけい...

何だ...







當時私に
お預かりいただき

仲間を満ちされた
彼なんか
私に感謝しを
したいと願い

力を放し

光輝を狙って
いるのさ





俺の人生
どうなるんだー

でも光輝
悪友の誘は
きまぐちゃだ
みたいじゃないの

これでもう
悪友はお腹を
満たさないし

え？

これから
こんな感じで
やってきや
いーのよ

おは
いっでも

はい
じゃあテスト
開始して

このお題はですか
暗唱してください

家以外で
俺に安眠の
地はない

学校だって
勉強がいっぱい
なんだ









う
嬉しい
けど

たふさ



いづなから声を
かけられる
ことが嬉しかった



学校の時にも
ずっと一緒だったのに

なんすかになんて
思っ



...え？

そうだったんだ

キツカケは...

あの日

俺の誕生日

ド

ク

ク

ク

うん？

どうしたの？

あーい

まさかーな

いや
でも...

...なあ
いづな









親がいない
からって
寝ること
すんなどー!!

さっさと
行け!!!

さっさと
嵐があの人は
………の

アハハ
やっぱりお前は
情なぬっ

おれが……

ずっと

渡しそびれて
だから

元請さん

まっ

あの……なん
これだけ



嬉しい……!!



何鼻血
たらしってんだよ

ダッセエ

へー



うお…おおおけ
ってこれは!!

あやき
おっかかったからっ…

わっってるとよ
あすきわいてんぞ

はらえぬ
おっかしてやる



おっかしてやるって

えっ
見てたの!?

守るのが
アサシの役目
なんだろーがよ









……は??

はっ??

何言ってるんだ
アタシは??

お前とあの子が
一緒にいるとこ
見たらなんか!

イライラして

……やきもちやい

かな

愚イ
気にすんなう……

……何だよ
それ

何だそれ
姉ちゃんこそ
子どもじやん!

弟離れ
しろよ……

!



え？



えっ
誰ちゃん？
待つ...



ふん、だも
思ってたつもり
だったんだけど
な...



クキル
...なんす...な

姉ちゃんが
俺のこと...!!

そんな...

姉ちゃんって
こんなに可愛
かったっけ...!!

ククン





これが酒吞童子の
姿……!!

それにしても
酒本童子も
男ついでなんですね

私たちに
かけられる
封印が

悪くはない
いいわい

え？



本来なら
アタシらは家で
妖怪の姿には
なれないはず
なんだよ

もともと必要以上の
妖力を宿びるのは
人間にとって毒

お兄ちゃんの身体を
守るために明光が
そういう呪詛をかけてる

でもアタシは
今朝この姿に
なることができた

その時
気づいたんだ

明光は
ぬかるぬーけど

明光の力が
少しずつ増えかけてる

何だよ

それ……

！



よりによってまた
母さんがいない
つてのに

家まで安全じゃ
ないなんて

そっさいや
いつなにもらった
アレゼントまだ
見てなかったな

これから一体
どうしていけば…

…ん？

先行き

…お守り？

不安だらけだ

厄除守



— 肆 怪 —

夏休み

テストが
終わり

終業式を
むかえ

ついでに

だって
ゆーのに



小さい頃一度
やった時に
さうさ中に
バネに巻かれてから

偶然のすれ違いで
毎年のように
会合なくされて
しまった

気持ち悪いね
いい悪いはが
ななくて

ここが
お寺さん

光輝くん

あ
いつな
話してたんだ

くど
聞いてた

おくん
まだ

あんな
あんな

同じベアに
なるといいね

あんな

あんな

この前ためしては
くどで女の子の
ベアをつくる

ちよつとだけ
聞かさない
でほしい！

あなたも
なんですか？

よろしく
おねがいします



あ
となりの
オタクの
……

やっぱオタク
うまくは
いかないか

悪本くん
ですよね
お母さまは
おねがい

悪本く
んです

うわさー

はい



…そうだった

夏さんはいつも
冷静沈着

そー
そうだよー

「心がない」なんて
胸口をたたかれて
いるような子だ

いづかは
誰とス
なんだろー

夏さん
さんでーすー

何となくと

あー
得て











な…なんだけ

ひょい
すま

そろそろ
帰らないで
ください

ドライアイス
ですよ

あそりや…

でも
周囲が熱い
いうのは…
暑いですね…

ええ？

キミの

キミの

どうしたの
麗さん

涼を嫌う
ないけど







だー
大丈夫ー！



ザリ



え？

めんなさー！



どうしたの
突然……？



本番は
怖いです...

ボク...も

何だ...
聖さんも結婚の
女の子じゃないか

それよりさっさと
外れちゃったほうがいい

何の... 夫と奥さん
さっさと別れてしまえ
たっし！

おれ...も

おれ...も

おれ...も

墓地……

うわっ
何だあれっ
火の玉

あれも仕舞掛けが
あるんだよね

おかしな……

すまじいって
コトはじやない
んですよね

という
ことは……

本も……



ずっと

顔がつて
いたのか

推けないー
すす

静かな
お静かな

大丈夫
だよ

推かぬものも
安にけと

人にはそれだけ
簡単本舞事が
あるんだ

だから
そんな風に

自分を
買めないで

感情が
ないな
思つて
たはは

きつとすこも
がんばり屋さんな
だけなんだ

こころんです



ええ

ボク
妖怪なのに

オバケが
怖いなんて……!!



魔界の王子
のために
能力に
ドンカン
なんですね

ええええ!?



はい

魔法の
チヤンスを
手放して
ました

もっ
ろしかして
魔法の
ことも...



あれ！
覚悟してなかった
んですか？

でもその前
のチヤンスに
対抗してないで...

もう
その前にも
じやないで...



あーあ



なめさせてくれないか?



何?



ボクはあひなめという妖怪です

何かを食べていると安心するんです

あひなめ

突然こんなことされて困るのはわかってますけど



危ない!!

え？











なッ...

ケガ
して
ます



なつ
あかり
あかね
あま
あさ
あけ
あさ
あけ
あさ
あけ



えっ?
あ
いっ
な?

結衣
行こ!!

やばい
誤解された——!!?

待っ……

がさ 自分の
物がないとこころが
大層いで

悪くない……

皆本くん

他にも
できないことは
ないようにも
がんばるまで
きましました

すし
めかっか
んです

どんなに
怖いのが
苦手でも

本当に大事な時に
勇気を出せば
いいんだって





もう
そんな気は
失せちゃい
ました♡

ひあうッ!!



だッ

だから
そーゆーの
やめろって!!

結局いづかの
段階は
解けないまま...

??

どうして
ですか?

いいえ、わからない...

でも、これは
よくないかな



— 第五怪 —



いつからこんな
距離ができて
しまったんだっけ……



何だ今の……？

光輝さん

お電話ですよ





えええええ!!?

えっどっ
どうしたん
ですか??

いやいやいや
ビクビクするだろ!!
かの身体……っ!!

……

ああ

時間が経って
少しずつ体力が
回復してきているので
身体も元の大きさに
近づいていきました

そー
それにしては



夏だ

海だ

ナンバだ——もう

おお おお おお おお おお

おい
立ち——

皆まで
言うな
皆本々

さっかくの
夏休み
ここでハメを
外さなくて
どこぞ外すは

いせあんなに
おもしろい
なすて

見ろよ

さんさんと
照りつける
太陽よりも

キラキラと
光る水面
よりも!!

まぶしい
この水着の
美女たち!!!

俺はこのために
一年を生きてる
と思う

くっくっ

なんかムダに
感傷深いとか
悪いんだけど

女の子がいるから
ナンパはできねー
だろ



おーもう!!!
なんでコイツが
なんだよ
オヤエはよけ

本日は彼女が僕の
誕生日を祝ってく
いうから連れて
来たんだけどー

ついでに僕とい
つて思うから
仕方なかった
んだよ



俺を助けてきた
彼女に感謝を
伝えていいのか
とも思ったけど

立野道やに
謝られた時に
俺は前の方を
ないし

ちっちゃい顔でも
悪魔を演じるなんていいの
魅力があるって思ってたよ
いてくれた方が
安心なのかも



あれ?
立川たち?





あれ、タレント
アイドルの
横古屋ほむら
じゃね??

まっ
ウソ??

まー
まじだ??

うそ、なんで??
撮影??

いや
オマケばい
ね??

は??お前
テレビ見ろよ
今バラエティとか
出てんじゃん!











……あーでも
そーだす

いや、それより
お前がアタシ
のいふので

カキ地
だめにしちゃって
ごめんなさい



水着だから
大丈夫——

で——



お前がア
タシのい
ふので



こ

こんな離れに
シャワーなんて
あったんですわ

んー

違うよか
はむら軍用の
仮設シャワー！

だってはむら
かシャワー室なんて
なかったら
誰立ってもやうし

誰に見られてるか
わかんない
じゃない？

え！！



でも一人で
ここのシャワーのも
不便だったの♡

じゃあ
見張ってて
ぬーっ

ハハハ

あっ

はっ
はい...

成り行きで
さういふことにな
ったんだけれど

これだけで
嬉しいからん
じゃないのか？

ダーノー人……
なんだよな

……ヤサシ一枚
心なすけ

流ってる
音がする……

おー
オオオ
あーだいたい

ああ
はいー

え



シロツメの
ベタベタ
とれなあい♡

あなたが
洗って？

すけ
3



な—
かきまね
全然帰って
こないね？

とっかで
寄り添ってん
じゃね

絶対
そうだ—





このわたしに
恥をかかせた
のね？



ひた...

えっ

誰うんです
僕...

今までの僕に恥をか
かされたことなんて
なかったのに



ひた...

ひた...

僕なんでも
かまふも関係ないな
何でもないからどうも...

あ...

はむらはその
城にも通してない
って言いたいのす

もしかして...

ねえ

地獄へ

おくらで
あげるー

死体は
大好きよ

はむらの虫黄を
しもべになるもの

やつぱり——!!!

妖怪だま

可愛がって
あげるね…♡

待つ…

お前も俺を
狙って!!

何か今までとは
カタ違いの
圧迫感が…

…って
アレ?

あなたほむらの
妖力を覚めて
どうして正氣で
いられるの?

えっ

普通の人間なら
まず意識を
失ってしまうのに…

は？
なにに…
白龍魂憑り?

そうか

だから
あの時…

…ああ

もしかして

あなた
頼光の――

！

雪女！

氷……？

光輝さん

離れて
ください！

！

その人は
火曜といって

妖怪の中でも
特に力の強い
妖怪なんです

ええ、けいゆう

！

そしてふか

悪魔ちゃん
なんか
ほむらに勝てる
わけないんだよ

くっ……

大体

どうして妖怪が
人間なんかを守るの？
この子が陽光の
親子だから？

だから
ジヤマしないで……

そうやって
世の安寧をうたづけて
みんなを助めたいの
下等妖怪が

ほむらは大ッ嫌——…



錦！

二度よ
助けないと
思ったのに！

万全じゃない
雪女じゃ
倒れ落ちない
はずない

！
雪女の
こと……？

え？

いつかの森に
幽霊がとびそう
だったら助けたわ

でも大丈夫
だったから
あの日は助けたのよ

妖力で
わかるわよ
それに……

私アキラが
雪女に変わった日
学校にいたもの

そうだった
のか……!

怪事が一人
増えたところで
はむらには
勝てないよ!

ね?

ああつ……

錦!

逃げ
なさい!!

でもっ……

光輝さん
早くっ

光輝……

何の力も
ないんだ……



何……？

何が
起き
はじまる……？

これが

身代わりに

……？

いづなが
くれた……

次から次と
邪魔が入る
なあ……っ

あっ
あの……

俺……

シャワーの時……
これをくれた子の
顔が浮かんで

ほむらさんが
魅力的じゃなかった
とかそういうん
じゃなくでっ

俺は……

俺は
いつかのことが

……っ

……なあーんだ



いづなのことが
好きなんだ

——いづ

なあなあ
さっき話してた
人だけども

月家の重なり
壁でいかぬー！

えー

まあ
お年配りって
こなかっただけに
家の構造も
好きなんだ

何だよ
それ！



ふう
片付いたか



つた
奥面が凹みだしても
目ではなかったぞ

でも
これから
どうする……

だよね……
ヤベーな

こり屋々上家の
敷地内に入って
こられるなんて



本格的に

稲光の力が
弱くなつてやがる



—最終怪—



いづなが
浴衣だし!!

かか
可愛い……

たか……

いづながはもうだうて
自覚したのは
いいけど

いづなには
肝だめしの時の酒割が
まだ残っていてなくて

嫌われた……よを
みれから全部
誤してておれはし

あつち
けさ
す

同じめ原
ついでんだよ
光輝

何か
食べよう?

え?

あ
ゴメン
大丈夫

でも
食いすぎ
だろー

そうだ
落ち込んでても
仕方ない

今日は
楽しまないとい













なっ……!?

何だ!?

何が……



母さん!?

さっ……

どうしたんだいよ
太玄美

来るな
光輝！

うな...



これって……

その子と
自分の身

いづな！

……悪い
けど

妖力に
当てられて
……！！

頑張って守って
ちょうだいね

あきん
ちよっと

勝手に目を配れる
ほどの余裕なくてさ



きやはははっ

頼光も落ちぶれた
ものね！

太王様とアンタ自身が
困ってんだから
もう皇子の力なんて
必要ないもの

アンタさえ
死んで
くれれば……

私たちは平和
なんだからさ！！

母さ……



姉ちゃん
朱音！

チッ
裏切り
者がっ

妖怪のくせに
頼光の味方にな
るなんて……

べつにアタシは
頼光に付いた
つもりはない
けど……

アタシの
主がそーする
っつーんだもん

仕方ない
っしょ？

時代は変わったー

妖怪が好き放題
できる時代は
終わったの

お兄ちゃん！

頼光が懷まれてる
のは過去の因縁の
せいだけじゃない

今も人間が妖怪の被害に
あぬないよりはずっと
人間たちを守ってるから

まー！

じゃあいつもの
お預かっていう
のは！

だから！

私は頼光の守る
今の平和が好き

私も守る

はい





聞いておれよ

!!

これが姉の
私より妖力が強い
だけ!

お兄ちゃんに
おふん防がない

お姉様お母さんだけ
には隠れてなくて
よかったです

ヤンちゃん

お姉さん

お
そーなの



しかし龍光の方が
万全だったら
コイツらなんか
片手なめにな

!!
そういえば
母さんの力が
解明されてる
って前に!

妖力自体が
弱くなって
のか?

なんで!?

あ
それは!

母さんの
妖力が

お前に
流れ込んで
いるからだよ



えっ...!?

でも

何をしてもお母様
を助けてあげない
みたいだ

この間はあんなに
お母様に惚つて
おらん

そんな...

お母さん...

お母さん...

俺は...

俺の存在が
全ての元凶
なんじゃないか

この世に
なってるから
俺は悪くさー

俺は悪くさー
でも俺は悪くさー

大事な人が

何もできない
だけじゃ
なくて

俺のせいで
皆がー

俺の
せいでー



母さん！
上……





!!

何!?

風の刀……!?



5...U...C





変わらないです

いやああ

だめま



さよなら

どうして
忘れて
いたんだろ



変化はただの
瞬間に過ぎない
から

だめま

大丈夫

大丈夫だよ
いっぴちゃん

早く

大丈夫

抱きしめて
あげなさい

昔みたいに

痛くないよ

……です



この子は
小さな體に
大いすぎる妖力を
持つて生まれて
しまった

この子の身体を
守るには
こうするしか
ないんだよ

この子自身が
それを望んだんだ

力を暴走させた
いづなは自分を
切りつけてしまう

それを察じた
母さんがいづなの
妖力を封印した

いづなは人間と
同じようになり

そして――

ママさん

こめんさん

本当はちゃんと
離れようって
思ってたの

いづなは誤解で
コヤちゃんにとって
悪くない

おばさまに
コヤちゃんの記憶の
断片まで
してもらったのに

妖怪としての
いづな……
「かまいたち」の記憶を
彼は失った

同時に妖怪に関する
記憶自体もつぎ
消けてしまったんだ

でも
コヤちゃんが
忘れても
いづなは覚えてる

どうしても
忘れられなかった

暴走するたびに
優しく抱きしめて
くれたこと

忘れたく
なかった

いづなが……



「ひまわりさん
のことが好き
だから……」



身体の変化は
少しずつ進んでいた

時間が経てば自然

でも確信したのは
数日めの時

感情が沸きあがった時に
分かったけど
風の音が集まると

ひまわりさんを
傷付けた

そうかじゃあ
聞いてたんだ
ないんだ

あ……

だから今度はこそ
本気で離れようよ

……

！

だめ……

離れて

いつまで？

コウモリ……

あ……

あ

え

まやああああ

うあう





呆けてんじや
ないわよ

いづなは真っすぐ
アンタに向かい
あったのに

アンタそれでも
男なの日

—そうだ

俺にできる
ことといえば
一つ

…母さん





光輝！

待つ――



アッ、アッ、アッ！
ほげんだらー

今月から新学年
ってのもあるん
じゃないかな？

夏休みが終わって
新学期かしらな？

あ、はいはい
おはよう



新学期ーね

……

おはよう







別に妖術師が
お前に憑かれちゃもうと
お前の方が妖力が
凄れ込んでしまう
可能性がみんだよ

心が動いて
想いを寄せた方に
妖力は流れる

だから
妖術士もはねあが
色は濃いです
お前を落とすしに
かかってたってわけ

なるほど...



彼女がお前を
落とさないって
いうのはこれが
理由だよ

ええ

だから！

今回のことは
もしかしたら
いづなの妖力が
先陣に流れた
可能性もみんだぞ

お前がいづなのこと
好きなのも知ってたから
どうもに流れるか
わかんなかったけど...

今回ののは
たぶん……

前例がないから
想定外の場を
はねーばあ

お互いが
悪いあつてたから
力が相殺された
ってことか



言ついてもと
聞きけよ……

もう二人とも
能力は微塵も
残つてないだろ

まっ
そうなのかな？

実れ込み増強を
失つた能力が
おつかり合つて
消えて

お前も二人とも
普通の人間に
なつたんだよ

つまり……





……どうして

おはよー

俺の非日常は
幕を下ろし

また日常が
戻ってきた

少しだけ
以前と違う
けど……



それは
非日常が生んだ

かけがえのない
宝物だ

完



雪女の挑戦



酒吞童子の過去



錦の巻物



ドキドキ妖怪らぶばとる！～長閑 妖怪大戦争～

著者：遠ミサキ

原案：エンターブレイン

2012 年 12 月 27 日 配信

発行者 高野 渥

発行所 株式会社ブックウォーカー

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-13-3

装丁 HONA GRAPHICS

©SAKO MISAKI 2012

©2011 ENTERBRAIN, INC. powered by Applica

【初出】

妖怪らぶ～最終巻

2012 年 7 月～ 2012 年 11 月配信（ブックウォーカー）

本作品はすべてフィクションです。実在の人物、
事件、団体にはいっさい関係ありません。

本書の一部、または全部を無断で複製複写、転載
することは法律で禁止されています。



BOOK★WALKER